

令和元年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市心身障害児通園施設「しいのみ学園」	所管課 TEL	こども福祉課 33-4767
所在地	松本市双葉4番16号	設置年月	昭和46年4月
施設設置目的	心身障害児に対し、母子通園・単独通園により、療育相談や生活訓練を行い機能回復を図る。		
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター1階 259.19㎡		
指定管理者名(選定方式)	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 (特命)		
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)		
指定管理者の 主な業務	障害児の相談及び指導、障害児の療育及び訓練、送迎車両の管理及び運行		
利用料金制の導入	あり 利用料金制(独立採算)		

施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)
	通所延べ人数	2,000	2591	129.6%	105.8%
	放課後等デイサービス利用延べ人数	100	161	161.0%	98.2%

(特記事項) 利用者数平均11.4人/日 (放課後等デイサービス平均 0.7人/日)

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				
		年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		収入 (歳入)	指定管理料	0	収支実績額	0	指定管理料	0	指定管理料
事業収入	25,384,000	事業収入	29,855,634	国庫補助金	14,479,718	国庫補助金	13,191,790		
受入研修費収入	137,000	受入研修費収入	146,400	県費補助金	7,239,859	県費補助金	6,595,895		
雑収入	10,000	雑収入	0						
拠点区分間繰入金収入	200,000	拠点区分間繰入金収入	197,050						
繰越金	12,390,000	繰越金	12,390,068						
自主事業収入	250,000	自主事業収入	320,310						
	計	38,371,000	計	42,909,462	計	21,719,577	計	19,787,685	
支出 (歳出)	人件費	20,502,000	人件費	19,908,669	指定管理料	0	指定管理料	0	
事業費	770,000	事業費	456,191						
事務費	2,238,000	【内訳】・保健衛生費・教養娯楽費							
固定資産取得支出	200,000	・教養娯楽費・燃料費・消耗器具備品費							
拠点区分間繰入金支出	8,708,000	・保険料・車輦費・雑支出							
予備費	5,952,000	事務費	1,834,125						
負担金	1,000	【内訳】・福利厚生費・諸謝金・旅費							
		・研修費・消耗品費・印刷製本費・修繕費							
		・通信費・委託費・手数料・租税公課							
		固定資産取得支出	197,050						
		拠点区分間繰入金支出	7,568,000						
		負担金	700						
	計	38,371,000	計	29,964,735	計	0	計	0	
損益		0		12,944,727	差引	21,719,577	差引	19,787,685	

(特記事項)

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
70.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	設置基準に基づき定員が定まっているが、医療的ケアを必要とする利用者も受入れており問題はない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリングチェック項目により確認したところ、業務従事者の適性な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	職員の緊急時対応連絡網を整備するなど、常に緊急時対応に努めている。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	利用者ごとに作成される個別支援計画の中で障害特性等が把握されており、リスク管理ができています。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	利用契約書の中に個人情報の保護が明記されており、また電子データの管理も法人全体で対策に取り組んでいる。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	法人本部を含め複数の職員で経理を管理。決算情報は公開しており、監査請求に対処できる内容になっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリングチェック項目により分析した結果、すぐに経営状況が悪化する問題点は認められなかった。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	同一の建物内に法人本部がある。また医療・福祉の様々な専門資格を有する職員が配置されていて支援体制は確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市とは相互に連絡がとれ情報共有が図られている。また協力医療機関とも必要時連携がとれている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表や実績報告書にて、利用者数に対して配置基準を満たす職員配置がされていることを確認した。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	園長が、サービス管理責任者の資格を有し、指揮系統や責任権限も明確にされており、問題はない。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	A	ノー残業デー、ワークライフバランスデーの実施、事務の効率化等の意識改革を進め長時間労働の削減に努めている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	アンケートで「相談に対して適切なアドバイスや情報をもらえた」という回答があり利用者のニーズに対応できている。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	複数の職員によって会計処理の確認がされた後に支払いを行っているため問題はない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	市の要求水準内の施設管理業務のなかで第三者へ委託する業務はない。水準を超えるものは法人が一括し委託している。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	事業ごとの事業内容、利用実績が分かる報告書を提供月の翌月に適切に提出されている。
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	救急法、心肺蘇生法、AED操作講習の実施を計画的に行い、職員の教育をしている。	
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回・清掃等適切に行われており、管理区域や事業範囲についてほぼ的確に把握できている。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	適切な事業運営がされており、アンケートでは「支援に満足している」との回答が100%であった。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	A	事業量が適切に実行されており、アンケートでは年間開園日数について「現状で良い」との回答が100%であった。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	地域の保育園との定期的な交流会の開催、実習生の受入等、積極的に取り組んでいる。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	1日の定員が決まっているが、利用者が継続して利用ができるような声かけ等を行っている。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	活動プログラムを固定化しないよう配慮をしておき、アンケート回答でも「工夫されている」が94%であった。
	障害者等への配慮	25 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	A	施設の特性から障害児に配慮した管理がなされている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	毎月行っている個別懇談会で利用者からの要望等を聞きとり、併せてアンケート調査を実施し業務改善に取り組んでいる。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	A	毎月提出される実績報告書から、セルフモニタリングは適切に行われている。
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	省エネルギー・省資源・事務用紙等の廃棄物削減など環境への配慮に積極的に取り組んでいる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	役割分業による業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業に関する支出は事業計画書の範囲内。収入は利用者数が安定していたため見込額を上回った。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和2年2月19日(水)～3月3日(火)
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙を配布し、施設内回収箱で回収
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和元年度の 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画を作成する中で、個々の目標、課題を明確にして、それに沿って機能訓練、療育を行うように努めた。また、保護者との意思疎通を図ることを心がけ、関係機関との連携もとりながら、共通認識を持って支援を行うことができるように配慮した。 就学する園児が多かったので、市の教育相談や学校との連携を図り、保護者と相談しながら、個々の児にとってより良い進路が選択できるように支援した。
要望・苦情への 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 個別懇談や日々の療育の中で、保護者とのコミュニケーションを図ることを心掛け、要望を聞き取り、その都度必要に応じて対応するようになってきた。 駐車場やトイレなどの館内設備に関する要望については、社協の施設管理の担当者に伝えて対応を検討してもらうようにした。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所、医療機関、学校、行政など、複数の関係機関との連携、情報交換を密にとりながら、共通認識をもって、支援、療育を行っていくことに努める。 医療的配慮が必要な児の受入れも行っているが、身体状況に十分な配慮をしながら集団療育の中で安全に様々な経験をしていけるようにしていくことが課題である。保護者、主治医、看護師、理学療法士等との連携を十分にとりながら実施していくように努めたい。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <p>昨年度と概ね同数の利用者数であった。自主事業が指定管理業務で提供されるサービスと連携することで、児童及び保護者に対して重層的な支援を行うことができるようになるため、自主事業の継続的な実施が望ましい。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>個別のテーマ設定なし。</p> <p>【総合的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用延べ人数が連続して増加傾向にあるなかで、アンケート調査においても利用者の高い満足度が得られているので、施設設置目的をしっかりと理解した事業運営がされていると評価できる。 医療的ケアの必要な児童の受入を行っているなか、利用者からの要望は無いものの、より良いサービス提供ができるように指定管理者自身で課題を整理し、改善策を講じているので、常にサービス向上を目指す姿勢があると評価できる。 利用者の増加、利用者の高い満足度、市が業務を行うにあたり指定管理者に求める事項を満たしているため総合的な評価としては、良好な事業実施ができていると評価する。 	<table border="1"> <tr> <td>配点</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>点数</td> <td>7</td> </tr> </table>	配点	評価	10	B	点数	7
配点	評価						
10	B						
点数	7						
	<table border="1"> <tr> <td>合計点数</td> </tr> <tr> <td>77.2</td> </tr> </table>	合計点数	77.2				
合計点数							
77.2							

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
良好

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和2年2月19日(水)～3月3日(火)
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙を配布し、施設内回収箱で回収
調査結果	実施状況	利用者21名の内19名に配布（2名は利用開始から2か月未満のため、配布せず） 回答者15名（回収率79%）
		<ul style="list-style-type: none"> ○活動等のスペースは確保されているか はい100% ○職員の配置数や専門性は適切か はい100% ○事業所の設備は整備されているか はい100% ○清潔で心地良く、活動に合わせた環境か はい87% どちらともいえない13% ○ニーズや課題を踏まえた支援計画となっているか はい100% ○支援計画に具体的な課題や支援内容が設定されているか はい94% どちらともいえない6% ○支援計画に沿った支援が行われているか はい94% どちらともいえない6% ○活動内容が工夫されているか はい94% どちらともいえない6% ○地域との交流や関係機関との連携はあるか はい94% どちらともいえない6% ○運営規定、利用者負担等について丁寧な説明があったか はい100% ○支援計画、療育内容について丁寧な説明がされているか はい100% ○家族支援プログラムが行われているか はい74% どちらともいえない13% わからない13% ○児の発達状況や課題について職員と共通理解ができているか はい94% どちらともいえない6% ○定期的に面談や助言等の支援が行われているか はい100% ○保護者同士の交流の機会や連携が支援されているか はい100% ○相談に対して速やかな対応があるか はい100% ○職員との意思疎通、情報伝達への配慮はあるか はい94% わからない6% ○定期的に活動概要や行事予定、業務に関する自己評価が発信されているか はい80% どちらともいえない13% わからない7% ○個人情報の取り扱いに十分注意されているか はい86% どちらともいえない7% わからない7% ○緊急時、防犯、感染症等の対応について周知・説明がされているか はい86% どちらともいえない14% ○定期的に避難訓練がおこなわれているか はい94% どちらともいえない6% ○子どもは通所を楽しみにしているか はい94% わからない6% ○事業所の支援に満足しているか はい100% ○単独通園はあった方が良いか はい94% どちらともいえない6% ○年間開園日数について 現状で良い100% ○今後も利用したいか はい100%
利用者からの意見 要望・苦情等		<ul style="list-style-type: none"> ○冬、部屋が暑くなりすぎる。 ○子どもは利用をとて楽しみにしている。 ○常に子どもや母親のことに気をかけており、その子に合った支援をしてくれ感謝している。 ○相談にも適切なアドバイスや情報を教えてもらえるので安心して通園ができる。 ○カレンダー通りの運営に感謝している。 ○防犯についてどのような対策があるか知りたい。 ○駐車場がすぐにいっぱいになってしまう。 ○業者や職員が入口近くに車を停めてしまい、朝、優先スペースが埋まってしまっている。 ○春休みがちよっと困っている。他の施設もやっておらず、子どもが不安定になる。